

東信大会 感染症対策及び注意事項

1. 専門部が行う感染症対策

- (1) 常時2方向の窓を開けて換気を行います。
- (2) 受付及び会場内にアルコール消毒液を設置します。
- (3) 大会関係者は常時マスクを着用し、選手も競技以外の場所ではマスクを着用します。
- (4) 観客については、原則無観客とさせていただきます。ただし、出場者1名につき、1名の保護者の入場は可とします。(その際は、事前に各校顧問へ申込を行っていただき、当日受付で連絡票への記入と検温をお願いします。)

※OB・OGや中学生等の入場は不可とさせていただきます。(各校でご連絡下さい)

- (5) 受付時に役員・選手・引率顧問・コーチ・補助員の検温を行います。
- (6) 形競技については、同時演武の場合は、呼称・気合はなしとする。一人演武の場合は、呼称・気合はしてもよい。(なくても減点はしない)

2. 競技団体(全日本空手道連盟)が定めるガイドラインによる感染症対策

- (1) 青帯・赤帯などの共用はしないようにしてください。
- (2) 受付時に、選手、引率顧問、観戦者の体温を測定します。**発熱がある場合は、大会への参加、観戦はできません。**
- (3) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、引率顧問から専門委員長へ報告してください。

3. 熱中症対策

- (1) 常時、暑さ指数(WBGT)を測定し、熱中症を予防します。

4. 参加校への注意事項

- (1) 開催準備を進めますが、感染症の状況等によっては中止する場合があります。
- (2) 各校で、生徒の運動パフォーマンスの回復状態、検温結果及び健康状況等を把握した上で大会参加してください。不安な状態であれば参加を見合わせる等の判断をしてください。
- (3) 生徒及び教職員が、感染者・濃厚接触者となった場合は、保健所が指定する出席停止期間は、大会参加禁止とします。
- (4) 出場選手・補助員・顧問は大会までの1週間、別紙2の健康観察を行ってください。また大会当日、引率顧問は「健康観察記録表」を受付に提出してください。
- (5) 長野県高体連のガイドラインにより原則無観客での実施となります。ただし、出場者1名につき、1名の保護者の入場を可としました。各顧問からご連絡ください。なお、(スムーズな受付のため、事前に別紙3「観戦者連絡先記入表」の配布・記入をお願いしてください)また入場希望の保護者の人数を学校ごと事前に専門委員長にご連絡ください。
- (7) 出場校・出場選手・補助員はできる限り消毒用アルコール・マスクを各自準備してください。(大会本部でも消毒用アルコールは準備します)
- (8) ゴミはもちろん、使用済みのマスク等は必ずビニール袋に入れて持ち帰ってください。